

平成16年度

# 事業計画書

自 平成16年4月 1日  
至 平成17年3月31日

財団法人 北海道科学技術総合振興センター

## 平成16年度 事業計画の策定にあたって

我が国経済は、長く続いた不透明感が後退し、好調な輸出、株価の上昇などを背景に景気回復に向けた動きを見せはじめてきています。

こうした中、国では景気を民需主導の自立的回復軌道に乗せるとともに、中・長期的に力強い経済成長を実現するため、日本経済の体質改善を目指す「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」の実現に向けて様々な施策に取り組んでいるところです。

一方、北海道経済は、公共工事の減少や長期化する個人消費の低迷、民間設備投資の伸び悩み、厳しい雇用情勢から全国に比べ景気回復の実感が乏しい状況が続いており、道内経済の再生が最重要課題となっています。

このような厳しい状況の中で、北大北キャンパス内の産学官連携のための基盤整備の進展や大学発ベンチャーの相次ぐ創業といった明るい動きも見られ北海道経済の自立に向けた積極的な取り組みが進んでいます。

当財団としては、このような動きを相互に連携させ支援するとともに、広く道内の産学官から寄せられる期待に応えられるよう、研究開発支援事業、産業クラスター創造事業、人材育成事業等幅広い事業活動を積極的に展開することとします。

## 平成16年度事業計画策定の基本方針（案）

当財団は設立以来、北海道における科学技術及び産業技術の一層の向上をめざして、産学官連携による各種事業を総合的横断的に実施し、北海道産業の振興及び活力ある地域経済の実現と道民生活の向上のため相応の成果を上げてきた。

平成16年度は、これまでの経験と実績をふまえ、より一層の成果をあげるため組織の弾力的運用を図り、独創的な技術・研究開発の展開と基礎研究から実用化・事業化まで一貫した支援活動の促進を図るため、次の点に重点をおいて事業を実施するものとする。

### 1. 研究開発支援事業の一層の強化

基礎研究から事業化・実用化までの一貫した支援活動体制を維持するため、各種支援施策の積極的な導入に努め、産学官連携による独創的な技術・研究開発の推進を図り、積極的な情報発信とネットワーク化に勤めるとともに、活力ある地域経済の実現のため、産学官共同プロジェクトの迅速な推進を図る。

特に、「次世代ポストゲノム研究プロジェクト」及び「札幌ITカロッツエリア創成事業」「幌延地圏環境研究事業」について引き続き推進を図っていくほか、北大リサーチ&ビジネスパーク構想の推進にも積極的に参加していく。

### 2. 事業化・実用化支援事業の更なる展開

産業集積が薄く、経済主体が各地に点在している北海道において、地域経済の活性化を図るためには、それぞれの地域の潜在能力を最大限に発揮し、知恵と工夫の競争が必要との認識から、道内28のクラスター研究会、各地域の企業並びに産業支援組織との交流・連携を図りながら、地域ビジネス創造へと産業クラスターの更なる事業展開に取り組んでいく。

また、地域から提案のあったビジネスプランを検討し、専門家によるコーディネート機能を活用し、事業化・実用化の実現を支援していく。

### 3. 普及啓発・人材育成事業の推進

バイオ、ITなどの先端科学研究分野での情報の受発信のための講演会や技術交流フォーラムを開催するとともに、経済の自立、競争力強化のためには人材の発掘・育成が必要との認識から人材育成のための事業を推進する。

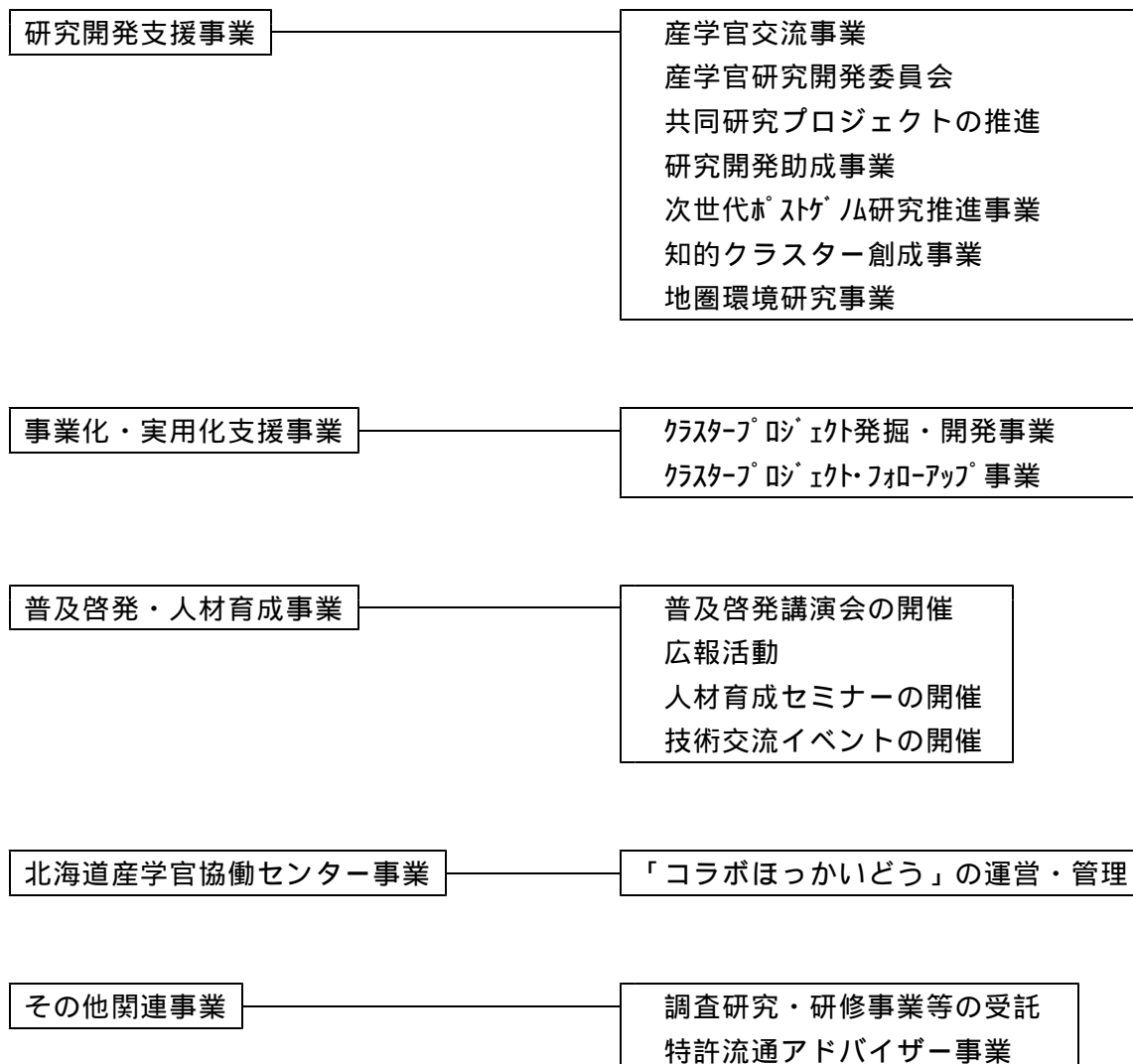
また、北海道最大の産業技術ビジネス展示会として定着している「北海道技術・ビジネス交流会」を関係機関との連携のもとで開催する。

### 4. 北海道産学官協働センター（コラボほっかいどう）の運営管理

コラボほっかいどうの活用による産学官連携・交流から、新たな共同研究テーマの発掘や事業分野の拡大につながるようなシーズ・ニーズの「つなぐ機能」が発揮できる運営管理に努める。

また、北大北キャンパス・周辺エリア産学官交流支援事業（北キャンパス町内会事業）を通じて各機関の交流促進を図る。

## 事業計画の体系



## 事業計画の内容

### 1. 研究開発支援事業

各種支援施策の積極的な導入に努め、活力ある地域経済実現のため、産学官の連携による独創的な技術・研究開発の推進を図る。

#### (1) 産学官交流事業

シーズ・ニーズの積極的な掘り起こしを行い、ビジネスアイデアの創造・製品開発・事業化に係わる研究開発プロジェクトの立ち上げ支援を行う。

産学官連携交流会の開催

インダストリアルツアーの実施

バイオ産業クラスター・フォーラムの開催

情報産業クラスター・フォーラムの開催

#### (2) 産学官研究開発委員会

先端技術やデザインに関する産業界のニーズを視点に、日本自転車振興会の補助金を活用して課題問題点の調査・検討を進める

光触媒技術利用促進調査事業

ナノテクノロジー技術開発促進調査事業

ものづくり産業高度デザイン導入調査事業

地域特性素材開発調査事業

研究開発シーズ事業化推進事業

技術開発事業案件ビジネス推進事業

#### (3) 産学官共同研究プロジェクトの推進

国等の研究支援施策の導入を図り、産学官連携による技術シーズの応用・実用化段階のプロジェクトマネジメントを行う。

また、次世代型技術研究開発に対する支援を行い新産業の創出を図る。

地域新生コンソーシアム研究開発事業

産学官連携事業

次世代型技術研究開発事業

基盤技術推進事業

熱利用技術を核とした水素社会構築モデル事業

地域技術活性化研究開発事業

#### (4) 研究開発助成事業

若手研究者や萌芽的共同研究の育成を通じて、基礎的・先導的研究基盤の確保を図り、産業化につながる研究開発シーズに助成を行う。

若手研究者育成支援事業

共同研究グループ支援事業

研究開発シーズ育成事業

産業創造技術研究支援事業

戦略的研究開発支援事業

( 5 ) 次世代ポストゲノム研究推進事業

豊富な糖質資源と優秀な研究者のネットワーク形成のもと、複合糖質科学を中核とした次世代ポストゲノム研究を支援することにより、新事業・新産業の創出を図る。

次世代ポストゲノム研究推進事業

( 6 ) 知的クラスター創成事業

サッポロバレーに代表される情報産業の地域ポテンシャルを生かして、ソフトウェア・ハードウェア構築技術とデザイン技術の融合による新産業領域の創出に向けた「札幌ITカロッツエリアの創成」の実現を目指す。

札幌ITカロッツエリア創成事業

( 7 ) 地圏環境研究事業

北海道北部の地盤特性や地下空間利用、生息する微生物の研究など地球科学研究の推進を図る

幌延地圏環境研究事業

2 . 事業化・実用化支援事業

道内28のクラスター研究会、各地域の企業並びに産業支援組織との交流・連携を図りながら、地域からの提案のあったビジネスプランを検討し、専門家によるコーディネート機能を活用し事業化・実用化の実現を支援する。

( 1 ) クラスタープロジェクト発掘・開発事業

プロジェクトテーマを発掘し、市場性、技術性等の検討を重ねビジネスプランを作成するとともに、コーディネーターが中心となりプロジェクトのブラッシュアップを図る

地域コーディネーター事業

事業化計画検討会議

プロジェクト事業化支援事業

審査会・プロジェクト推進会議

事業化促進支援事業

産学官共同研究開発チャレンジ事業

( 2 ) クラスタープロジェクト・フォローアップ事業

道内28の地域研究会や地域の産学官と連携を図り地域の産業クラスター活動を支援するとともに、事業化・実用化にむけた支援を図る

地域の仕組みづくり事業

3 . 普及啓発・人材育成事業

科学・技術の振興発展に資するため、総合的な普及啓発・人材育成事業を行う。また、広報誌の充実、ホームページによる情報提供等に努める。

( 1 ) 普及啓発講演会の開催

科学技術・産業技術に係る各種交流会、研究発表会の開催。

一般市民各層を対象とした、エネルギーキャラバンの開催。

( 2 ) 広報活動

広報誌「NOASTEC」の発行。  
ホームページでの積極的な情報提供

( 3 ) 人材育成セミナーの開催

知的財産セミナーの開催  
先端技術先進企業等との研究交流支援

( 4 ) 技術交流イベントの開催等

ビジネスEXPO（北海道技術・ビジネス交流会）の開催支援  
関係団体との交流

4 . 北海道産学官協働センター事業

新たな共同研究テーマの発掘や事業分野の拡大につながるようなシーズ・ニーズの「つなぐ機能」が発揮できる運営管理に努める。

( 1 ) 「コラボほっかいどう」の運営・管理

( 2 ) 北大北キャンパス・周辺エリア産学官交流支援事業

5 . その他関連事業

( 1 ) 調査研究・研修事業等の受託

( 2 ) 特許流通アドバイザー事業

組織図（事務局）

